

上川陽子茶業会議所会頭との意見交換会概要

日時：平成30年10月22日 午後1時～14時40分

場所：静岡市 ホテルアソシア

1 出席者 別紙

2 生産側理事の意見

- ・農協の取扱量が減少している
- ・山間部は、お茶を植え替え他の作物に転換して、茶園面積が減少している。
- ・山間地の茶工場も次の機械を更新するときは廃業する人がほとんど。
- ・流通とのマッチングを進めている。
- ・農協の果たす役割は、1番が担い手、2番が基盤整備、3番が販売。
- ・農協改正法の中、会社組織へ移行しても税制の優遇がなく、株式会社への移行について、農事組合法人は蚊帳の外にある。
- ・中山間地に限り、5haの基盤整備の事業を始めたが、中山間地は一ヶ所で5haをまとめるのは困難、市の行政区域内で5haの規模でないと難しい。
- ・生産者と流通のマッチングが必要、一番茶の品質のいい物ばかり作っていても売れないので、法人の強化を図り、需給のバランスをどうするのが課題。
- ・オール静岡体制が必要で、茶商にも地産地消で、静岡の茶を買う姿勢にならないか。
- ・時代の合った売り方は必要であるが、急須で入れる茶の消費が増加しないと捌いていけない。
- ・茶価の低迷のとき、JGAPやHACCP等の認定が必要となっているが、その経費負担が大変。

3 茶商側理事の意見

- ・農家が地域組合なので、広域にやろうとしても組合員のやっかみもあり、地域外への出作が難しいので、広域モデルを作りたくて欲しい。
- ・基盤整備、土地の集約化を図り、生産量の確保が必要で後継者へ継ぐ仕組みが必要。
- ・最近では複合農業化され、どれかひとつが駄目になると全て駄目になる。
- ・山間地へ金をかけるより、平坦地でも空いているところが多くなってきているので、そちらを整備団地化するほうが実質的ある。
- ・茶価の低迷は、高級茶需要の減少、高級茶の消費を伸ばすため、淹れ方教室より闘茶会を開催し、参加する消費者への意識向上を図ることが必要。
- ・個食の時代、バラエティ豊かな茶が求められているので、急須にこだわる必要はない、自分にあった好きなだけ飲める自由度が必要。
- ・静岡市内の茶商は、農家と直接取引しない再製加工の間屋なので、生産地への要望もできないので、摸索の状況にある。
- ・ティーバックでもブレンド次第で美味しくなる。
- ・茶価の低迷は、上級茶の味をわからない、飲んだことがない人が多いから、静岡県人は、その判断基準を持ち共有する。
- ・JGAP、GGAP、最近では、ハラール等いろいろなものが氾濫している。その資格内容も変更していく、JAS規格のような一定な規格があり、その規格さえ守れば、全て対応するものが欲しい。

4 団体・行政側理事の意見

- ・共同工場に生葉が集まらなく、運営が大変になっているので、自園自製の農家を共同工場に取り込み、茶の栽培、製造を全て共同作業で行うことが必要。
- ・産地表示問題から、県内でも、原発事故の影響で取り扱わないことがところがある。
- ・付加価値の高い、中山間地のお茶を残すことを考える。
- ・掛川市は、お茶を飲まない地域があるので、「互産互消」に取り組んでいる
- ・健康志向の中、非常にいい食材、海外からも注目されているいい業種であるはずが、駄目という人が多いなか、抹茶をうまく使いソククリームやお菓子など前向きにやっている人がいるが、駄目という人は、従来の甘い汁を吸ってきたお茶や生産者ではないか。
- ・お茶は、駄目なものではなく、面白い食材、どのように展開していくか、みんなで考えていく必要がある。
- ・無形文化遺産の和食には、緑茶はでてこない。静岡県人として、美味しい高級茶の文化や急須

で飲む文化は、シンボルとして残す方法を考える。鹿児島や京都では、駄目といわない。静岡の人だけが駄目と言う。お茶は、面白い、新しいものを開発しようとする取組をみんなで考える。

- ・最初から急須で飲めと言っても普及はしない。動機付けが必大切で、そのきっかけとして、子供のころから、お茶に関心を持つようにすすめる。スタートは、コーヒーと同様にインスタントからとの考える時期にきている。

5 まとめ

それぞれの考えや問題点が、意見交換会を通じて明らかになった。

上川会頭は、コミュニケーションが大切、茶業を「成長産業」にしていこうとする思いを共有化することが必要と言われた。

「成長産業」をキーワードに、従来の事業に対して、PDCA サイクルをきちんと回して、これまでの取組んだ施策が活着しているのか検証する必要がある、問題点の共有化を図ることが必要である。

色々な考え方の違いや見当違いがあつたが、考え方を整理し、同じ方向に向けるコンセプトが出てきた。

6 写真



別紙

上川会頭と理事との意見交換会出席名簿

推薦団体	氏名	所属
県経済連	石川 和弘	県経済連 常務
	鈴木 清貴	J A静岡市 常務
	堀井 益美	J A大井川 常務
	松永 大吾	J A掛川市 組合長
県茶商	成岡 揚蔵	協和製茶(株)
	原田 康	ハラダ製茶(株)
	長田 辰美	(株)おさだ製茶
茶業 会議所	上川 陽子	衆議院議員
	天野 一	県議会議員
	松井 三郎	掛川市市長
	内田 行俊	(株)静岡茶市場
	小澤 俊幸	静岡県茶業会議所

※ 掛川市長随行でお茶振興課掛川係長

	氏名	所属
事務局	村松 潮見	上川陽子事務所
	高瀬 英夫	県茶商
	天野 尊人	静岡県茶業会議所